

Dexerials

2024-2028年度 中期経営計画
「進化の実現」

2024年5月13日

デクセリアルズ 株式会社

○ 中期経営計画 2024-2028年度「進化の実現」

1. 前中期経営計画の総括および本中期経営計画の基本方針
2. 成長領域での事業拡大
3. 既存領域における事業の質的強化
4. キャピタル・アロケーションと財務戦略、資本政策
5. 経営基盤の進化

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている中期経営計画に関する記述中の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来に関する記述の正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があり、当社として将来計画の達成を約束する趣旨のものではありません。なお、実際の結果等にかかわらず、当社は本資料の日付以降において、本資料に記載された内容を随時更新する義務を負うものではなく、かかる方針も有していません。これらの記述は投資家の皆様の判断のための参考情報の公開のみを目的としており、投資に関する最終決定はご自身の責任においてご判断ください。これらの記述に全面的に依拠して投資判断を下すことによって生じうるいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。

○ 中期経営計画 2024-2028年度「進化の実現」

1. 前中期経営計画の総括および本中期経営計画の基本方針

2. 成長領域での事業拡大

3. 既存領域における事業の質的強化

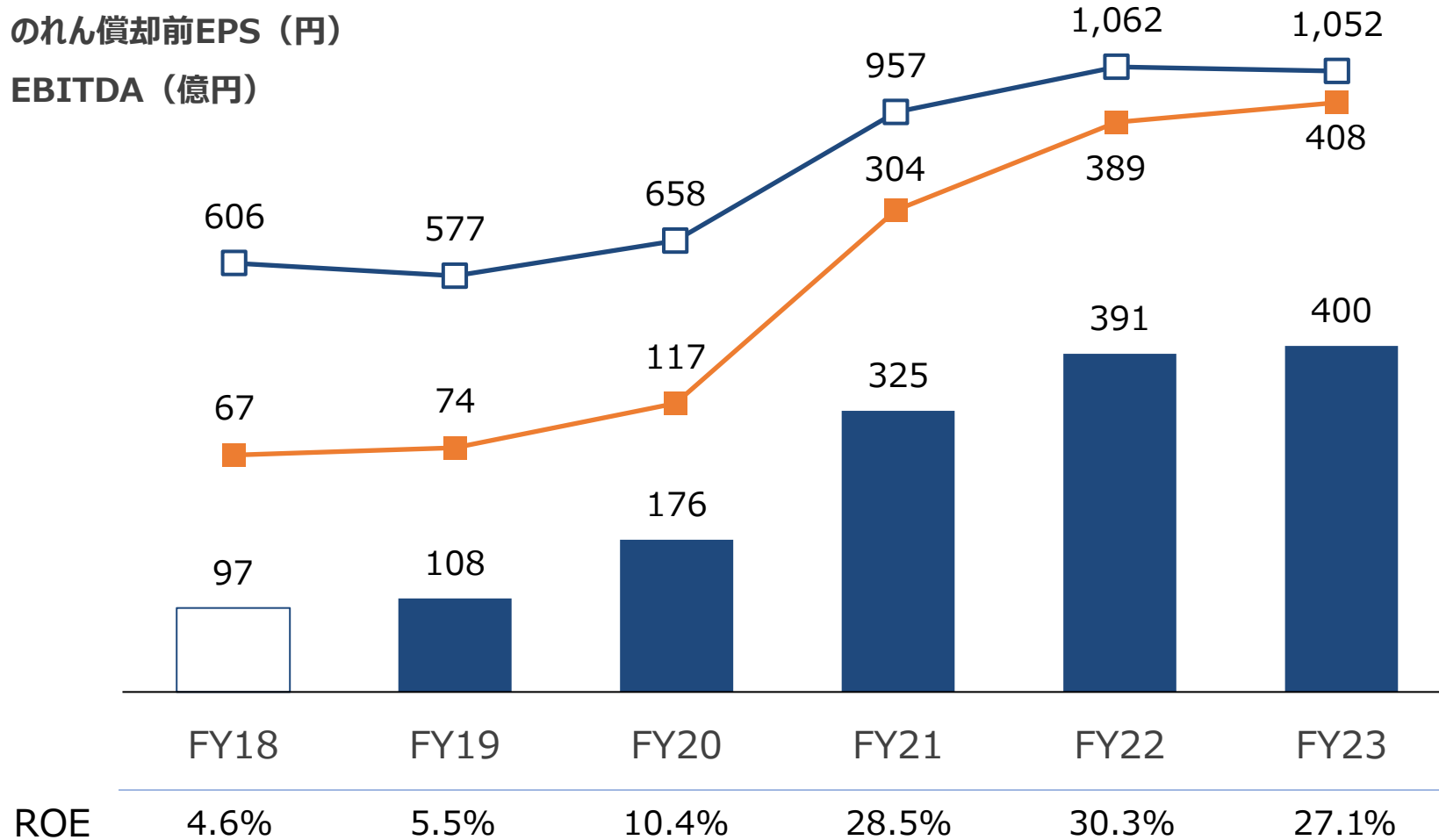
4. キャピタル・アロケーションと財務戦略、資本政策

5. 経営基盤の進化

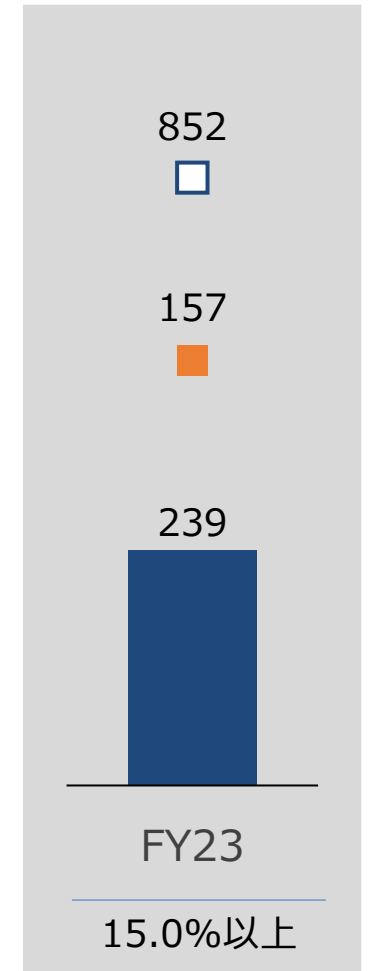
位置づけ

中期成長戦略と企業変革の実現で
持続的成長と企業価値向上の礎を築く

- 売上高 (億円)
- のれん償却前EPS (円)
- EBITDA (億円)



中計リフレッシュ時目標
(2021年5月公表)



成果

基本方針

新規領域での
事業成長加速

既存領域における
事業の質的転換

経営基盤の強化

施策

- フォトニクス領域を第3の柱として特定、
フォトニクス事業子会社 DXPS* 立ち上げ
- 高付加価値製品の拡大
- 反射防止フィルム、表面実装型ヒューズの増産投資
- レスターHDとの戦略的パートナーシップ形成
- グローバルでジョブ型人事制度を導入
- 従業員に対する自社株式給付

課題

事業ポートフォリオの拡大、環境変化への対応

* DXPS : デクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ株式会社

位置づけ

成長投資と株主還元の両立により
持続的成長と企業価値向上を実現する

基本方針

1. 成長領域での事業拡大 2. 既存領域における事業の質的強化 3. 経営基盤の進化

FY2028

売上高

1,500 億円

事業利益

500 億円

EBITDAマージン

43 %

EPS*

626 円

ROIC

14 %程度

ROE

25 %程度

* 株式分割前

○ 中期経営計画 2024-2028年度「進化の実現」

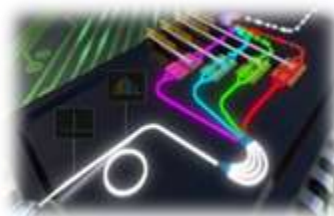
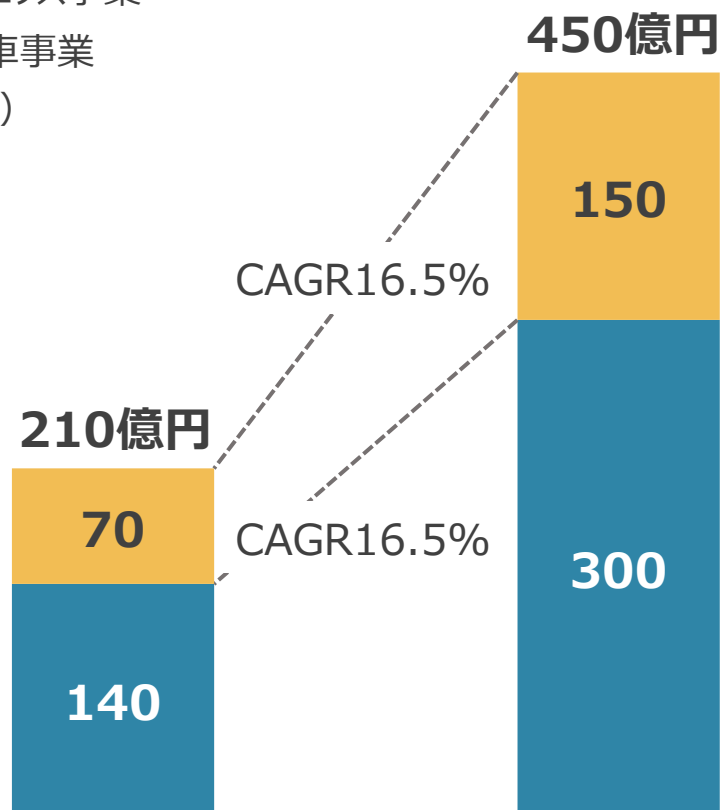
1. 前中期経営計画の総括および本中期経営計画の基本方針
- 2. 成長領域での事業拡大**
3. 既存領域における事業の質的強化
4. キャピタル・アロケーションと財務戦略、資本政策
5. 経営基盤の進化

成長領域での事業拡大

今後さらなる市場の拡大が進む、自動車・フォトリクス領域での事業成長を加速

成長領域 事業規模 (売上高)

- フォトリクス事業
- 自動車事業
(億円)



成長領域 事業戦略

フォトリクス事業

- 生成AIの浸透による、通信量増大
- データセンターの需要増、高速化要求に対応した高速PDの採用拡大

自動車事業

- 100年に一度の変革「CASE」の進展
- 車載ディスプレイ向け反射防止フィルムのさらなる拡大
- センサーモジュール向け精密接合用樹脂のW/Wでの拡販

FY23 (実績)

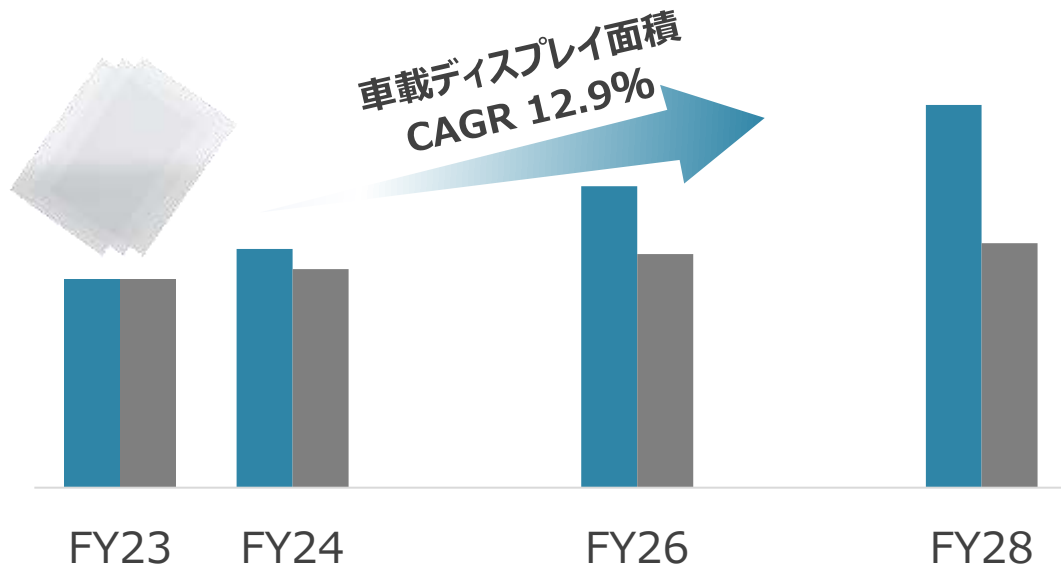
FY28 (計画)

自動車事業の市場環境と主要施策

完成車台数に左右されず、自動車の進化に貢献し事業拡大

車載ディスプレイ向け反射防止フィルム

- W/W 車載ディスプレイ面積
- W/W 完成車生産台数

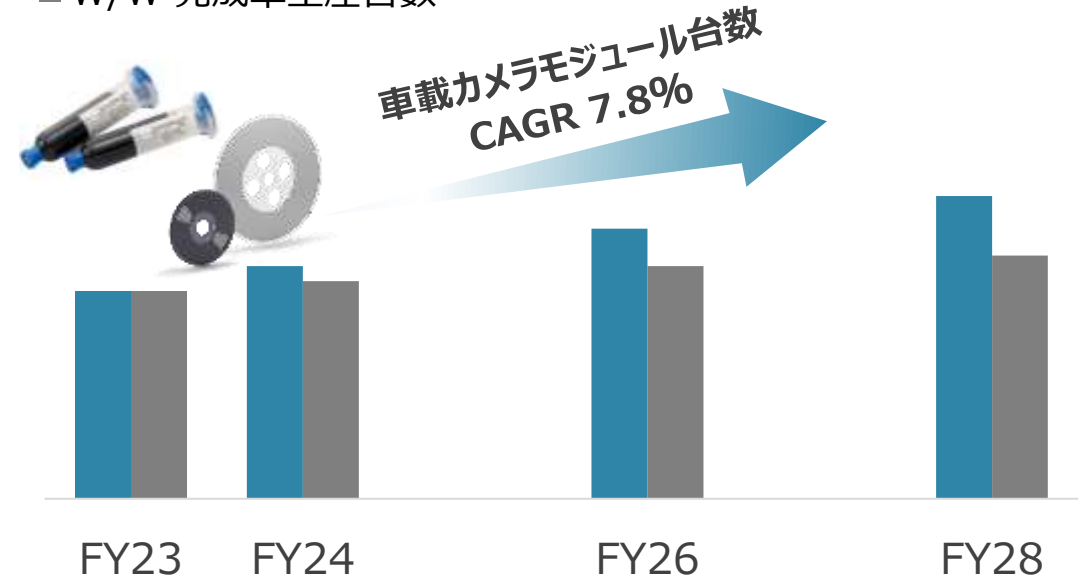


- 車載ディスプレイの大型化、搭載枚数増が継続
- 車載向け反射防止フィルム専用ラインが2024年4月に稼働開始、今後の需要拡大に対応

* 調査会社による市場分析情報を基に当社推計

センサーモジュール関連製品

- W/W 車載向けカメラモジュール台数
- W/W 完成車生産台数



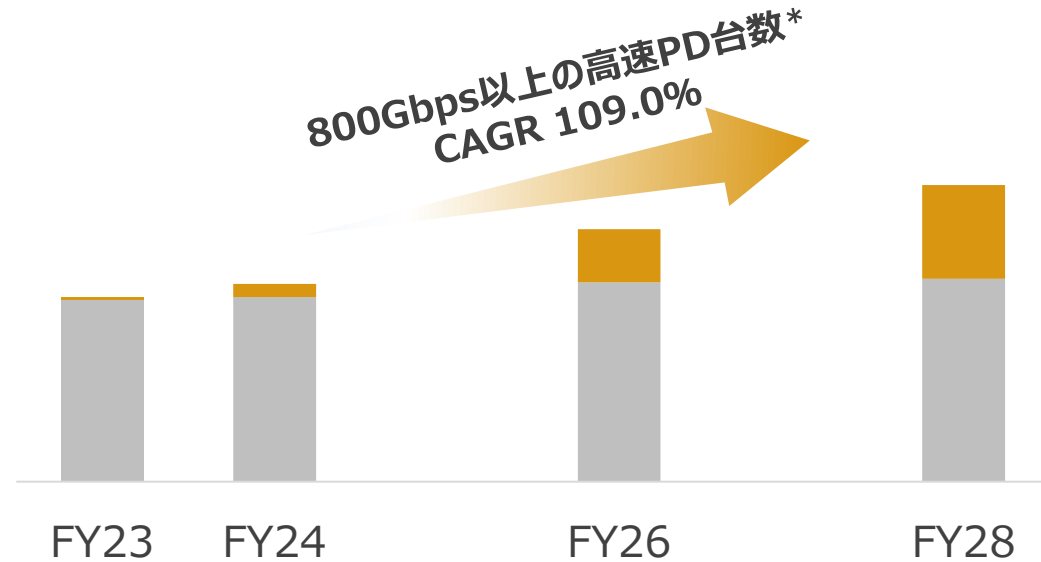
- 国内Tier1/Tier2案件：獲得済み
- W/Wでデザイン・イン/スペック・イン活動推進

フォトン事業の市場環境と主要施策

生成AI向けなどのデータセンター需要で拡大する市場で、独自の製品を展開

光トランシーバー向け高速PD

- 次世代：800Gbps以上
- 現行：800Gbps未満



- 大手顧客からの需要・要望
- 増産投資を実行し、需要に対応

現行世代
800Gbpsまで
(100G/Lane)

W/Wトップメーカー
案件獲得済

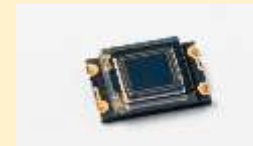
次世代
800Gbps以上
(200G/Lane)

既に開発に着手
順調に進捗

次々世代
1.6Tbps以上
(200G/Lane以上)

複合光半導体デバイスの
開発を構想

複合光半導体デバイス
化合物光半導体 × 光学デバイス (偏光板、導波路など)



技術の掛け合わせで
次々世代の高速通信技術が求めるスペックを実現

*引用元：LightCounting社 市場分析情報より

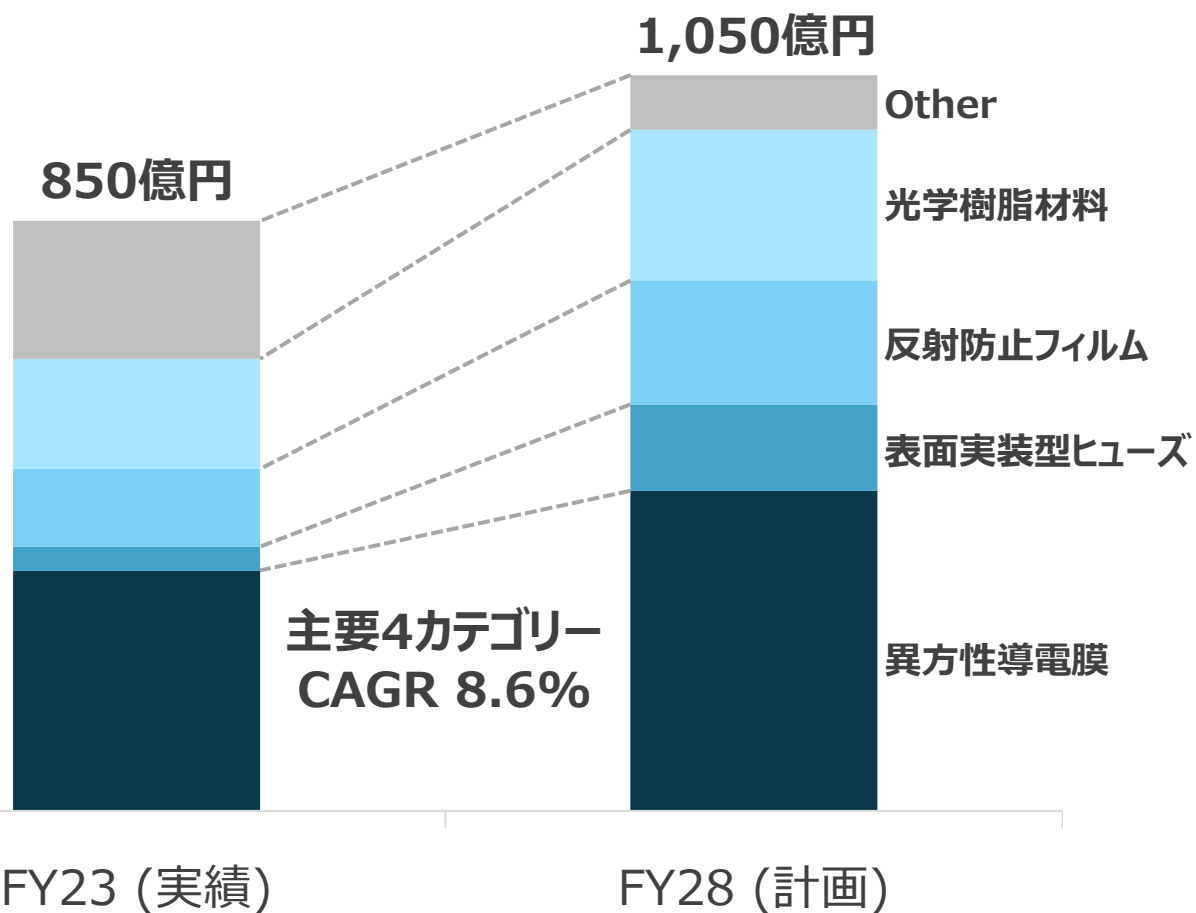
○ 中期経営計画 2024-2028年度「進化の実現」

1. 前中期経営計画の総括および本中期経営計画の基本方針
2. 成長領域での事業拡大
- 3. 既存領域における事業の質的強化**
4. キャピタル・アロケーションと財務戦略、資本政策
5. 経営基盤の進化

既存事業の概要および成長ドライバー

高付加価値製品を軸に事業拡大、成長継続

既存領域 事業規模（売上高）



既存領域 成長ドライバー

表面実装型ヒューズ

- アプリケーション多様化、台数増
- 多様な機器の電動化、LiBの二次保護回路規制強化など、中長期的なトレンドを捉える

異方性導電膜（ACF）

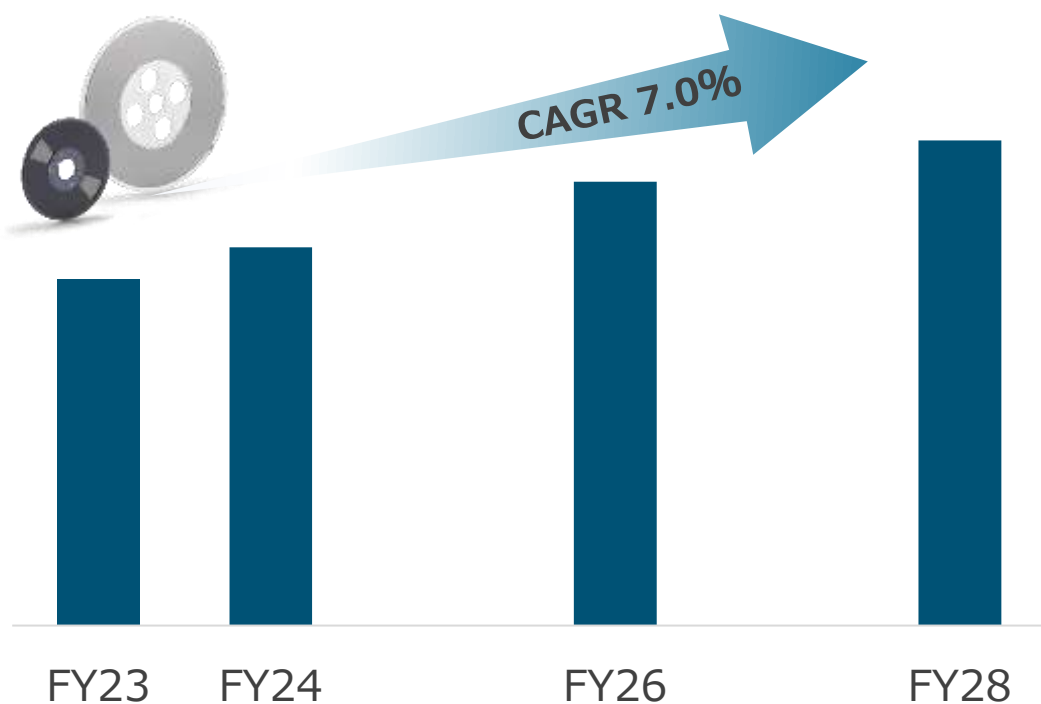
- 有機ELディスプレイ（OLED）の最終製品への採用拡大、粒子整列型ACFが成長継続
- 新アプリケーション：マイクロLEDディスプレイへの採用活動進行中

異方性導電膜（ACF）の市場環境と主要施策

有機ELディスプレイの増加トレンドをサポートしながら、新アプリケーションへの採用活動を展開

有機ELディスプレイ市場環境

■ 有機ELディスプレイ出荷台数



* 調査会社による市場分析情報を基に当社推計

主要施策

フレキシブル有機EL（OLED）ディスプレイ向け

- 前中計でデファクトスタンダード化
- 採用アプリケーション増により、粒子整列型ACFも需要増
- 増産投資実行、2026年新棟稼働予定

新アプリケーション:マイクロLEDディスプレイ向け

- 採用に向けた活動進行中

センサーモジュール向け

- 顧客のニーズやデザインにあわせた、設計自由度の高い形状加工ACFを提供
- アプリケーションの成長を上回る成長を実現

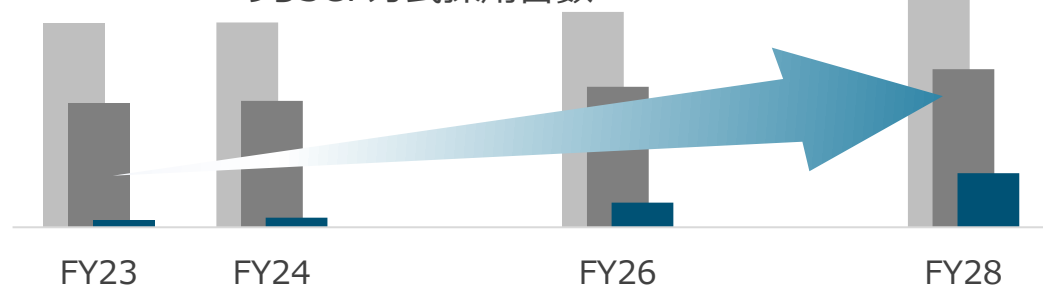
表面実装型ヒューズの市場環境と主要施策

リチウムイオンバッテリー（LiB）の安全性向上に貢献し、価値創出

市場環境

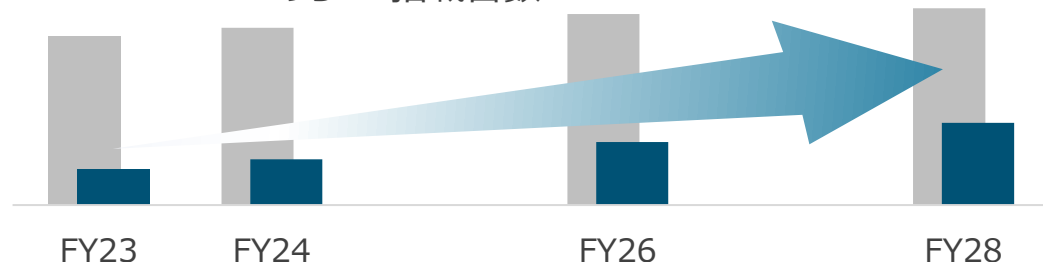
電動工具

- 電動工具生産台数
- うちLiB搭載台数
- うちSCP方式採用台数



電動バイク

- 電動バイク生産台数
- うちLiB搭載台数



主要施策

- 多様なアプリケーションへのLiB搭載が進行
- 欧米における、LiB二次保護回路規制強化のトレンドをサポート

電動工具向け：グローバル展開の加速

電動バイク向け：安全性啓発活動



○ 中期経営計画 2024-2028年度「進化の実現」

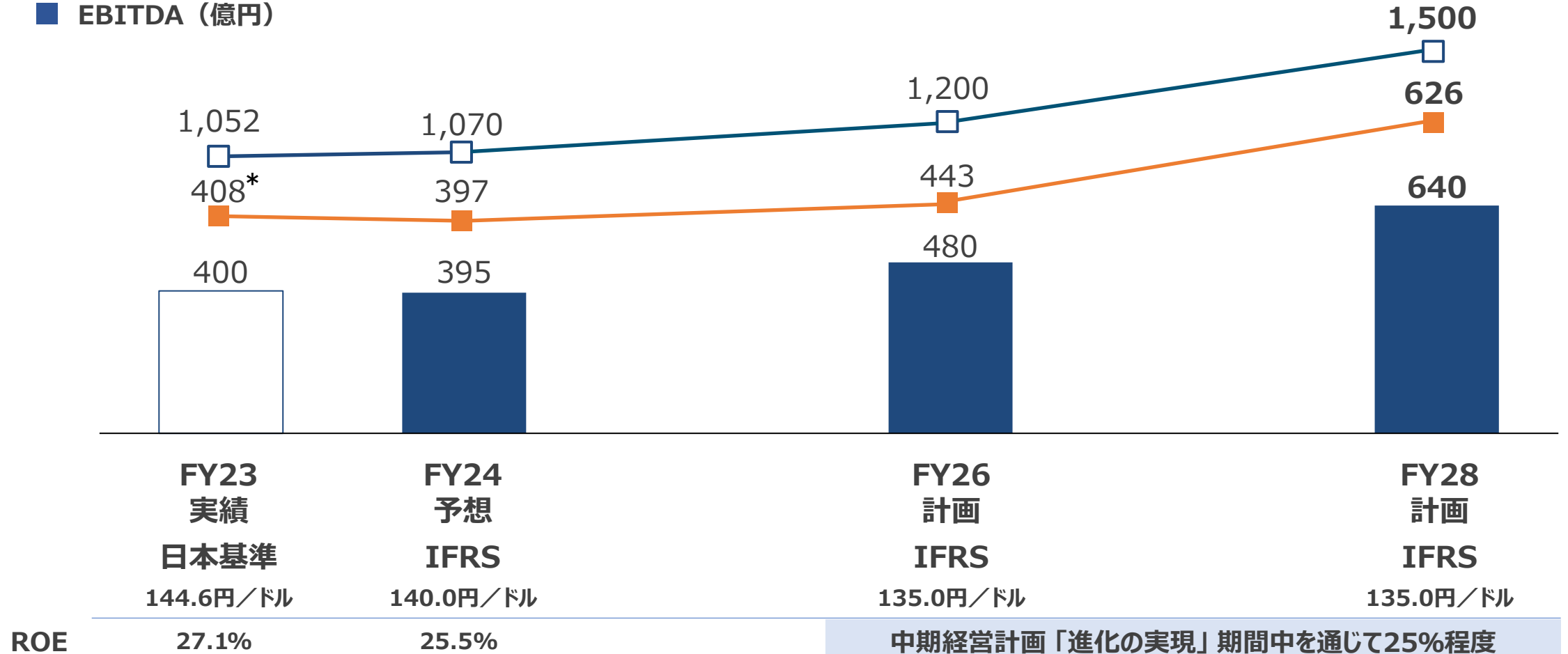
1. 前中期経営計画の総括および本中期経営計画の基本方針
2. 成長領域での事業拡大
3. 既存領域における事業の質的強化
- 4. キャピタル・アロケーションと財務戦略、資本政策**
5. 経営基盤の進化

経営目標

- 売上高 (億円)
- EPS (円、株式分割前)
- EBITDA (億円)

位置づけ

成長投資と株主還元の両立により
持続的成長と企業価値向上を実現する

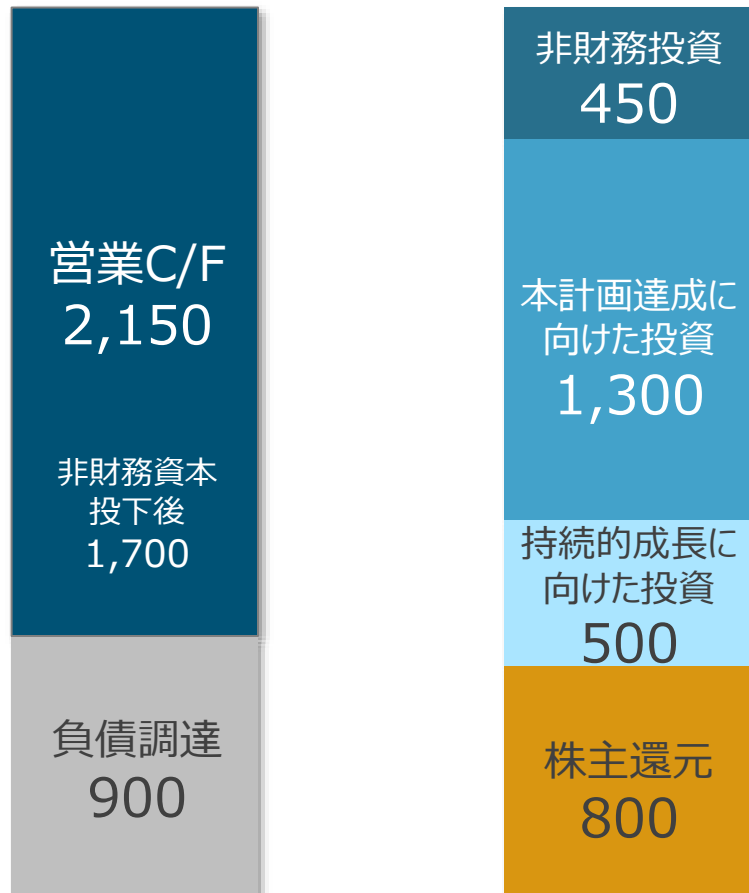


*のれん償却前EPS

キャピタル・アロケーション

最適資本構成を踏まえた成長投資と株主還元の両立

中期経営計画期間 5年間累計 (億円)



非財務投資

- マテリアリティである「人・技術」への投資

本計画達成に向けた投資

- 前中計の「約3倍」の投資を計画
- ROIC目標 14%程度

持続的成長に向けた投資

- 蓋然性が高まった際の「追加投資枠」を確保
- 投資機会がない場合は追加還元を検討

株主還元

- 総還元性向「60%」を目途に還元 (5年間累計)
- 配当性向 40%を目途として、DOE7%下限とする方針

財務戦略

- Net D/E:0.45x、自己資本比率:50%を目安 (FY28)

株主還元方針の見直し

成長投資と株主還元の両立による
持続的成長とさらなる企業価値の向上を目指して、還元方針を見直し

総還元性向*

40 %目途

FY19-23還元額

約350億円

*のれん償却前当期純利益に対する総還元性向

総還元性向**

60 %目途

配当性向

40 %目途

DOE***

7 %以上

FY24-28還元額

800億円程度

**5年間累計

***前期末純資産額に対して7%

株式分割について

目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と、当社の経営理念やパーパス、持続的な成長に共感していただける投資家層の拡大を目的とする

株式分割の概要

1株につき、3株の割合をもって分割

基準日：2024年9月30日

効力発生日：2024年10月1日

分割後投資単位：約20万円

発行済株式総数

株式分割前： 60,192,200 株

株式分割後： 180,576,600 株

(注) 詳細は2024年5月13日付適時開示「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください

まとめ – 経営目標・株主還元

FY2028

経営目標

売上高

1,500 億円

事業利益

500 億円

EBITDAマージン

43 %

EPS*

626 円

ROIC

14 %程度

ROE

25 %程度

株主還元

総還元性向

60 %目途

配当性向

40 %目途

DOE

7 %以上

* 株式分割前

○ 中期経営計画 2024-2028年度「進化の実現」

1. 前中期経営計画の総括および本中期経営計画の基本方針
2. 成長領域での事業拡大
3. 既存領域における事業の質的強化
4. キャピタル・アロケーションと財務戦略、資本政策
- 5. 経営基盤の進化**

持続的成長を支える強固な経営基盤へ進化していく

営業機能強化

ビジネスモデルの
さらなる強化

- 海外におけるデザイン・イン&スペック・インの強化
- パートナーシップによる
ディストリビューション強化、
ボラティリティ抑制

人と技術の強化

マテリアリティの
強化

- 研究開発のさらなる強化
- 技術人財の確保と
グローバル人財の強化

製造機能強化

生産年齢人口減少を
見据えた効率化

- DX化による
スマートファクトリー構築
- BCP機能の強化

Our Purpose & Sustainability

Purpose

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。

Empower Evolution.

Connect People and Technology.

人と技術をつなごう。
社会と希望をつなごう。

デジタルテクノロジーの
進化に欠かせない材料やデバイス、
ソリューションを生み出して、
ここから世の中を変えていこう。

私たちデクセリアルズは、
お客さまと一緒に明日を思い描き、
課題を一つひとつ解決していく。
技術と人を巧みに掛け合わせ、
新たな進化を生み出していく。

さあ、今日も挑戦しよう。
もっと豊かで、もっと効率的な社会へ。
あらゆるステークホルダーが、
いつまでも心地よく暮らせる世界を目指して。

Materiality

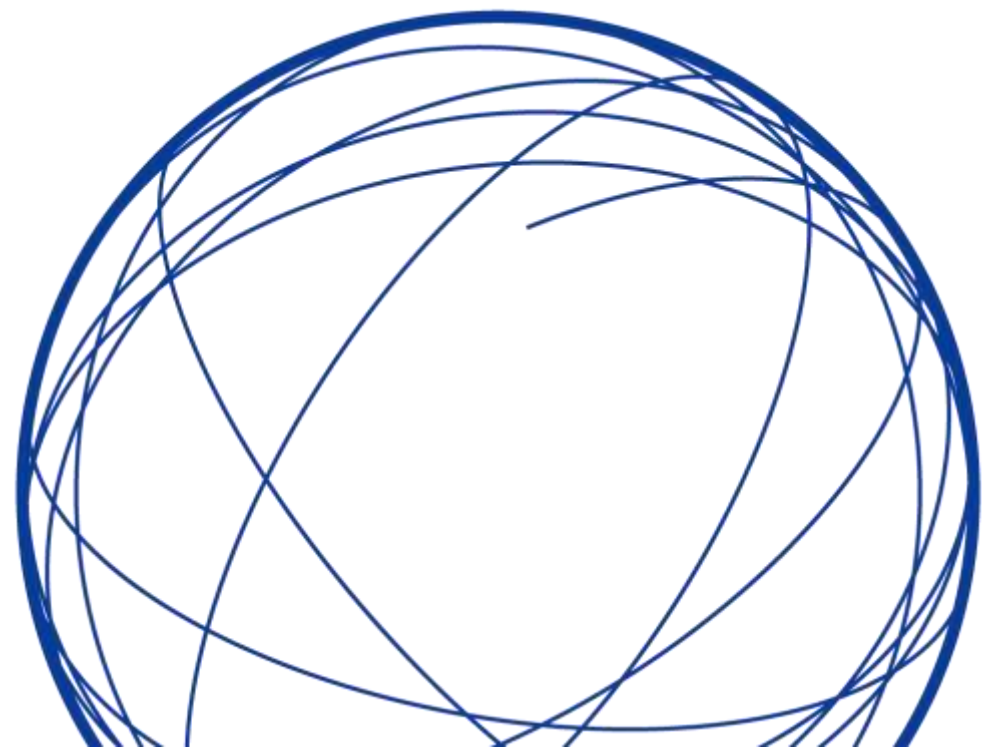
「技術」と「人財」の強化

10年後のありたい姿

- より広い領域でデジタル・テクノロジーの進化に貢献
- 社会的価値と経済的価値を創出し、持続的成長を実現

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。



Appendix

売上高/利益と経営指標

	FY24予想 IFRS	FY26計画 IFRS	FY28計画 IFRS	FY24-28計画 累計額
売上高 (億円)	1,070	1,200	1,500	6,200
事業利益 (億円)	335	360	500	1,930
EBITDA (億円)	395	480	640	2,460
EPS (円)	397	443	626	
ROE	25.5%	中計期間を通じて25%程度		
ROIC	18.8%	中計期間を通じて14%程度		

セグメント/領域別売上高

FY23実績
日本基準

FY24予想
IFRS

FY26計画
IFRS

FY28計画
IFRS

セグメント別売上高 (億円)

光学材料部品

515*

500

510

640

電子材料部品

544*

570

690

860

領域別売上高 (億円)

成長領域

210

225

300

450

既存領域

842

845

900

1,050

連結売上高 (億円)

1,052

1,070

1,200

1,500

*FY23セグメント別売上高にはセグメント間取引を含む

キャピタル・アロケーション

		FY19-23 累計額	FY24-28計画 累計額
Cash-In*	営業C/F (億円)	965	1,700
	負債調達 (億円)	375	900
Cash-Out	成長投資 (億円)	390	1,300+500**
	株主還元 (億円)	350	800
	借入返済 (億円)	370	-
	現預金増減他 (億円)	230	-

*非財務資本投資後

**500億円は蓋然性が高まった際の追加投資枠

(参考) 第12期 定時株主総会上程議案 (2024年6月25日開催予定)

	項目	備考
第1号議案	剰余金の配当	FY23 期末配当金65.0円 (年間配当金100.0円)
第2号議案	取締役 (監査等委員である取締役を除く) 5名選任	独立社外取締役3名 (うち1名は新任)、および 社内取締役2名
第3号議案	取締役 (監査等委員である取締役を除く) の報酬額決定	第9期定時株主総会において決議された 年額300百万円以内 (社外取締役分年額40百万円以内) を 年額450百万円以内 (社外取締役分年額70百万円以内) に改定
第4号議案	監査等委員である取締役の報酬額	第9期定時株主総会において決議された 年額50百万円以内を 年額70百万円以内に改定
第5号議案	取締役 (監査等委員である取締役および 社外取締役を除く)に対する 業績連動型株式報酬制度一部改定	中長期インセンティブの見直し ・ 譲渡制限付株式をBBTの一部として毎年株式付与 (注)ABS : STI : LTIの構成を3 : 3 : 4に変更予定

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。

